【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【公表番号】特表2019-528821(P2019-528821A)
【公表日】令和1年10月17日(2019.10.17)
【年通号数】公開・登録公報2019-042
【出願番号】特願2019-508238(P2019-508238)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｍ　16/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｍ　16/06　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月30日(2020.9.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
呼吸気体源と流体連通して接続されるとともに患者の気道に呼吸気体のフローを供給するように構成されたインタフェース装置であって、前記インタフェース装置は、
支持体と、
前記支持体上に位置する変形可能部と、
前記変形可能部上に位置するとともに前記気道の近傍において前記患者と係合するように構成されたインタフェース部と、
を有し、
前記変形可能部は、格子構造を形成するとともに前記支持体上の複数の離間した接続点において前記支持体と接続される複数の変形可能要素を有し、前記変形可能部は、前記複数の変形可能要素間に位置する複数の隙間を更に有し、
前記複数の変形可能要素の少なくともいくつかの変形可能要素が、互いに相互接続されており、
前記インタフェース部が、壁を有し、前記複数の変形可能要素が、前記壁上の複数の離間した追加の接続点において前記壁と接続されており、
前記インタフェース部が、バリアを含むバリア装置を更に有し、前記バリアは、前記支持体と前記壁との間に延在し、前記呼吸気体のフローが流れ込んで前記複数の変形可能要素と接触するのを防ぐように構成されており、更に、前記呼吸気体のフローが前記隙間に流れ込むのを防ぐように構成されており、
前記複数の変形可能要素及び前記複数の隙間が、前記バリア内に封入されている、インタフェース装置。
【請求項２】
前記壁が、前記壁が前記患者の顔の少なくとも一部と係合することを可能にするように輪郭付けられている、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項３】
前記インタフェース部が、前記壁から突出するとともに前記患者の顔と係合するように構成されたフラップを更に含む、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項４】
前記フラップの少なくとも一部が、前記壁から離間して、前記フラップの少なくとも一

部を前記患者の顔と係合するように変形させるように構成された正の圧力としての呼吸気体のフローを受けるように構成されたポケットを形成する、請求項３記載のインタフェース装置。
【請求項５】
前記複数の変形可能要素の少なくともいくつかの変形可能要素が、前記バリアと接続される、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項６】
前記複数の変形可能要素が、前記バリアから切り離されている、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項７】
前記複数の変形可能要素が、前記バリア内に封入されている、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項８】
前記インタフェース部が、一組の壁を有し、前記複数の変形可能要素が、前記一組の壁上の複数の離間した追加の接続点において前記一組の壁と接続され、前記インタフェース部が、前記一組の壁上に位置するとともに前記患者の鼻孔と係合するように構成された一組のノズルを更に有する、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項９】
前記インタフェース部が、壁を有し、前記複数の変形可能要素の少なくともいくつかの変形可能要素が、前記壁上の複数の離間した追加の接続点において前記壁と接続され、前記支持体が、ベースと、少なくとも第１のプラットフォームと、を含み、前記複数の変形可能要素の一部が、前記ベースと前記少なくとも第１のプラットフォームとの間に位置し、前記複数の変形可能要素の他の部分が、前記少なくとも第１のプラットフォームと前記壁との間に位置する、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項１０】
前記インタフェース部が、前記ベースと前記少なくとも第１のプラットフォームとの間に延在する一のバリアと、前記少なくとも第１のプラットフォームと前記壁との間に延在する他のバリアとを含むバリア装置を更に有し、前記バリア装置が、前記呼吸気体のフローが流れ込んで前記複数の変形可能要素と接触することを防ぐように構成されている、請求項９記載のインタフェース装置。
【請求項１１】
前記複数の変形可能要素が、前記バリア装置から切り離されている、請求項１０記載のインタフェース装置。
【請求項１２】
少なくとも前記変形可能部が、積層造形プロセスに従って製造される、請求項１記載のインタフェース装置。
【請求項１３】
前記変形可能部が、複数の材料から前記積層造形プロセスにより形成され、前記複数の材料の少なくとも１つの材料が、前記複数の材料の他の材料の材料特性とは異なる少なくとも第１の材料特性を持つ、請求項１２記載のインタフェース装置。
【請求項１４】
前記変形可能部が、複合材料または合金を形成するために前記複数の材料から形成されたマトリックスである、請求項１３記載のインタフェース装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
本発明の第１０の実施形態に係るインタフェース装置９０４は、概して図１２から図１

５に示されている。インタフェース装置９０４は、インタフェース装置４と同様に構成された支持部９２４、変形可能部９２８、およびインタフェース部９３２を含む点でインタフェース装置４と同様である。